

# 支え手 かな ぶん 号

発行：神奈川県地域子育て支援拠点かな一ちえ

〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川1-29 東都ビル3階

TEL/FAX 045-441-3901 URL: <http://kanackie.com>

第61号

2021年1月発行

## 探る する 日々

深える領域はあるものの、  
大家を過ぎると草さも  
峠を越して

陽だまりのぬくもりが  
感じられる日もできてきました。  
一月の緊急事態宣言を受けて

今年は遠出を探えて近所散策、  
いつもの買い物の道で、  
小さな赤い実が目についたり、

鳥のさえずりが聞こえたりと  
五感に響く。  
素敵な発見がありました。

自粛生活の続く中、  
新しい親子のたまり場づくりを  
模索する日々が続きます。

今回の元氣号は、  
オンライン子育てお話しタイムを  
特集しました。

子育てで大切にしたいことを  
引き算してしまったり、  
そして子どもの成長と共に

見守ってくれる人を  
みつつけよう！  
というメッセージに

まちの応援団  
かめっ子の皆さんの  
温かい笑顔が浮かびました。  
なんだか心強い気持ちになった  
ひとときでした。



地域の親子と支え手さんとで楽しみにしていた  
イベントのひと時〜「理念ながら「三密」になっ  
てしまいうから〜」と、今年度は開催を控えたという  
声が届いています。……そんな中  
広い公園等で開催したかめっ子さんの年末の  
様子をご紹介します。



### 子安入江地区では、会館のお隣りの公園で外の Xmas 会

当日は晴天 支え手さんたちは、朝早くから準備万端で、多くの親子を応援  
しました。もちろん、外でも検温や連絡先の記入は欠かせません。

お昼まで、手作り遊具で遊び、支え手さんと歓談し、親子で走り回りました。

「毎年恒例ですから日程は知っていますよ」とかめっ子卒業生が参加したり、

「町の掲示板で見ました〜」という人も、かめっ子があることで、

若い世代も掲示板を見る習慣があることが伝わってきました。



手作りの魚釣り・ボーリング  
コーナーの他に、輪投げや  
ケンケン(遊び)があり、  
子どもたちは何回も何回も  
チャレンジしていました◎

### \* ♪ ♪ ♪ \* ♪ ♪ ♪ \* ♪ ♪ ♪ \*

#### 神之木・西寺尾地区と西寺尾・クワッ地区は、

事前予約制で、合同のぶちぶちお楽しみ会を開催しました。

沖縄舞踊グループ「流め花」の皆さんをお招きして、一緒に踊ったり遊  
びを教わったり、手作りの太鼓をバチで叩いたり〜と支え手さんも親子も  
一緒に楽しみました。

コロナ禍で、活動が滞っていた地域グループにとっても、発表する機会と  
なりかめっ子で披露できたことを、とても喜んでいた。

感染対策をしながら、絵本の読み聞かせやコーラスグループ(野外で)を  
かめっ子に招いている地区もあります。地域で活動をしている団体同士、  
顔の見える関係だからこそ支え合いが生まれています。♪



手作りの太鼓を叩いて♪



思わず踊っちゃっ♪

## 我が子の応援団を増やそう♪引き算の子育て



講師：ほうだあきこ氏

NPO法人子育てニッポン理事長/NPO法人ファザーリング・ジャパン理事  
「ここみで未来」運営

コロナ禍の中、今年度は、子育てに関する講演会を、オンラインで開催しました。  
講師は、既にオンラインで“サロン”を開催している、ほうだあきこさん。  
当日は、年齢の低い子どもを育てている人に向けて、子育てのヒントになるようなお話をした。  
「Zoomのやり方が分からない」という人には、個別に説明してもらいました。

## あなたが子育てで大切にしたいことってなんですか？

大切にしたいことが、「〇〇すべき」、「他の人がしているから」  
に形優されて、隠れてしまうことがある。  
パートナーや家族に伝えるためには、  
自分の「大切にしたいこと」を知ることが大事。  
まず子育て中の生活で、大切にしたいことを  
書き出して、「引き算」してシンプルにまとめていく。



## 引き算の子育て

書き出したものの中から、  
「特にコレ！」というものを3つ選ぶ。  
そして、どうすれば、それを実現しやすいか。  
毎日の生活で、自分のできることに置き換えて  
やってみる。

お父さん、お母さんのこだわりが、  
その家の空気になる！  
今は伝わらなくても、子どもが  
自立つとぎにはきっと…

～例えば…我が家の場合～  
健康、あいさつ、食事は大切にしたいな。  
まずは、簡単にできること…あいさつから！  
そこで、作った我が家のルールは、  
★顔をみて、「おはよう」。  
「おやすみ」を家族でいうこと。

## みんなの感想

- ①とでも大変な時間でした。意見を述べていくまで、「自分にとって何を軸にしていこうか」改めて考える機会になりました。
- ②想像力を働かせて、子どもに話しかけよう、と思います。
- ③楽しみながら、子どもと一緒に家事をしたり、たくさん外に出て、いろいろな経験させてあげたい。子どもが「やりたい」と思ったことは真実できるようにしたいと思いました。
- ④3年間後どう過ごしたいか、いいイメージを持って、男にも子どもにも、遠くで働きたいと思いました。
- ⑤まだまだコロナ禍で、人と会うのが大変に気がしますが、少しでもつながりを持つてみるを見つけておきたいです。
- ⑥初めてZoomを使い参加しました。子どもが小さいので、オンライン開催は気軽に参加ができ、良かったです。
- ⑦家族の合う時間を大切にしたい。まずは時間を決めてお茶を入れることから始めたい。
- ⑧「ほめる」よりも「認める」ことが大切だと思うのが印象的でした。つい結果を「ほめる」しまいがちですが、過程を「認めて」あげることが大切なんだと思いました。

## ★生活「くう、おる、遊ぶ」をどとのえる

同じ生活リズムは“安定”を生み出します。  
毎日同じ時間に起きるところから始めてみよう。

## ★かかわり・観察

子どもをよく観察し、次の行動を予想してみよう。  
子どもの命を守ることに繋がります。

## ★見て・真似る

子どもがした動作を真似ると、子どもはまた大人を  
真似る。やってほしいこと真似てほしいこと、  
自分が〇〇する姿を見せよう。

## ★想像力・表現力

大人の言葉が、子どもの心と言葉を育てる。  
互感で感じたもの、ことを、言葉にしよう。

## ★認める

ほめるは…結果、認めるは…過程  
大人は結果を評価しがちです。  
でも子どもなりのこだわりで努力したり、工夫した過程を認めよう。  
認めるコツは…子どもをよく観察し、前と変わったところを言葉にしよう！

子どもの発達を促そう！  
いろいろな人の目と手をかけて、  
子どもは育ちます！  
非常に子どもの命を  
守る確率も高くなり、  
防災の観点からも大切！  
まずは大人が仲間を  
つくろう！

## 子育てのヒント



他の子どもへの声かけは、  
認めるキーワードを使いやすい！  
我が子にも返ってくる！

## ★あきらめる・おもしろがる

どうにもならないこともある。  
気持ちのコントロールができるようになる。  
笑い飛ばす力も働きます。

**我が子の名前を呼んでくれる人、  
成長を見守ってくれる人を見つけよう！**

他育ちのすすめ

## 参加者と、ほうださんのやりとりから～

**参加者** なんでもしなさい！」ではなく、なるべく子どものすることを認める子育てをしたいなと思いました。

**ほうださん** 子育てはたくさんトライがあり、失敗も度々です。でも失敗が続いても大丈夫

**参加者** 最後までがんばることが大事！と、ず～っと思っていました。時にはあきらめることも大切だと思いました。

**ほうださん** 親は子どもへの期待や夢が大きくなりやすいものです。

がんばりすぎないでください。でも、最後まで見守ってあげてくださいね。

**参加者** 子どもを応援したり、認めるのは、親のすることだと思っていました。

**ほうださん** 親によって、一緒に子育てする仲間は、心の拠り所になりますよね。  
子どもにとっては、親以外の大人は、親とは違う優しさや力をくれる  
大きな存在になると思います。



当たりを見つけたら  
写真を撮って下さい！



青木小学校の防災倉庫は  
地下にあります



### いすみ反町保育園主催、市大まち保育園研究所・区協力の「まち保育ワークショップ」

防災を目的としたビンゴをしながら、親子で町中を歩きました。

いすみ反町保育園からスタート。さすが、毎日町の中を散歩している保育園児たちは、当たりを見つけるのが早い！ビンゴカードには、マンホール、ポスト、マンションの建物等、日常見かけるモノの他に、防災のポイントにもなる箇所（屋）も描かれており、「当たり」を見つけると写真を撮ります。途中、防災拠点でもある青木小学校に寄って、防災倉庫を見学しました。収納されている防災用の物品を、地域の方や消防士さんから説明を受けました。最後に、映した写真を持ち寄って、

「気付いたこと」を出し合いました。

「毎日のように散歩をしている子どもたちは、町の中にあるモノを見慣れていることが分かりました」

「地域の人とも交流できました」等の感想がありました。

市大の三輪先生からは…「普段、散歩をしながら、

防災を身近に感じてほしい」、「防災拠点があるエリア毎に、保育園も日常的に地域と繋がる必要がある」と、お話があり、地域の活動に防災の視点を加えることで、子どもたちにも、防災の意識付けになる…とヒントをいただきました。



ビンゴカードには、ポストやマンホール、木の家の他に、屋など危険な箇所も描かれてあり、ゲーム感覚で楽しみながらも、防災の学びが含まれていました

### 「ダブルケア」とは…

育児と介護・看護の同時進行だけに限らず、介護と孫支援、育児と配偶者や自分自身のケア等、複数のケアを同時にする必要のあることを言います。最近では、進学しながら祖父母の介護をしている

「ヤングケアラー」の存在も、社会問題となっています。

### 「ダブルケアカフェ」は…

「子育て・介護…行政の窓口がそれぞれ違う」、「ダブルケアを理解してくれる人がいない」、「ママ友には子育ての相談はできるけど介護の話はできない」等々、当事者の声があり、それぞれの専門家にも入ってもらい、

情報交換や提供ができる場です。

神奈川区では、年に数回、かーちえと神北水地域ケアプラザで、社会福祉士・横浜子育てパートナー、

経験者と一緒に、トークタイムを開催しています。「子育てと介護…同時に悩みごとを話せる」、「うちだけじゃない！」と気が楽になりました。「経験者の話がとっても参考になりました」等々、参加者の感想です。

身近に当事者の方が  
いたら、  
お声をください。



毎日引いた  
おみくじは、大吉  
次回引くまで  
大事にしたいと  
思います。

今年の初詣では、  
混雑を避けるために、  
年末に参拝しました。  
前例の参拝は、  
「幸先詣」と言うそう  
で早めに参拝しても  
ご利益は  
変わらないそうです。

【編集後記】



ダブルケアカフェ